

平成 26 年 2 月 7 日
株式会社日本政策投資銀行
株 式 会 社 岩 手 銀 行

東日本大震災復興ファンドによる 東北資材工業(株)への融資実施について

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）と株式会社岩手銀行（代表取締役頭取：高橋真裕、以下「岩手銀行」という。）が共同で出資する東日本大震災復興ファンド「岩手元気いっぱい投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）は、東北資材工業株式会社（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：藤原則夫、以下「当社」という。）に対して 1 億円の融資を実施しました。

当ファンドは、地域事情に精通するとともに被災地域に広範なネットワークを有する岩手銀行と投融資一体型の金融サービスを提供する DBJ の連携のもと、東日本大震災の被災企業に対する復興資金の供与を通じ、被災地域の早期復興支援を図るため平成 23 年 8 月に設立されました。

当社は、昭和 41 年 8 月に設立された梱包用発泡スチロールを中心とした合成化学製品メーカーです。発泡スチロール（EPS）の持つ保冷効果、耐水性等に早くから着目し、当時木箱が主流であった魚箱^{きよばこ}への利用を図るべく、自社で発泡スチロールの生産・販売を開始しました。近年では、インクジェット印刷等新技術の積極的な取り込みを図っているほか、需要の拡大が見込まれる住宅用断熱材等の建築用途にも注力しています。

東日本大震災では、津波により主要な販売先である水産業者が大きな被害を受けました。当社も沿岸部の営業所が被災しましたが、間断なく操業を継続、復旧した営業所のネットワークを活用し、製品を安定的に供給することにより、被災地の経済・雇用における中核業種である水産業の復旧・復興の過程において従来にも増して重要な役割を果たしています。

本件は、当社に対し安定的な長期資金を供給せんとするものであり、当ファンドの取り組み趣旨に合致するものとして実施されたものです。

DBJと岩手銀行は、引き続き、当ファンドによる被災企業への投融資等を通じ、被災地域の復興を支援してまいります。

【お問い合わせ先】

(株)日本政策投資銀行 東北支店 企画調査課 電話番号 022-227-8182

(株)岩手銀行 営業統括部 企画推進グループ 電話番号 019-624-8667

※なお、本件発表は、東北電力記者クラブ（仙台市青葉区）および岩手県政記者クラブ（盛岡市）に資料配布を行っております。

News Release



【ファンドの概要】

- (1)名 称 : 岩手元気いっぱい投資事業有限責任組合
- (2)規 模 : 50億円 (当初)
- (3)設 立 : 平成23年8月3日
- (4)出資者 : 無限責任組合員 (GP) : (株)東北復興パートナーズ
有限責任組合員 (LP) : DBJ、岩手銀行
- (5)期 間 : 投資期間3年、存続期間10年 (但し、必要があれば、投資期間で2年以内、
存続期間で5年以内の延長を行うこともあります。)

【ファンドのスキーム図】

